

2018 年度後期授業アンケートまとめ

1. アンケート結果の概要

1-1. 実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に、またはオムニバス科目の担当教員が相互に課題を共有し、授業改善を行うためのデータを得る。
- (2)学部学科としてカリキュラムを改善するとともに、大学として組織的な教育改善に取り組むためのデータを得る。あわせて、教育力の向上を点検するためのデータを得る。
- (3)授業に対する自身の取り組み方について学生の振り返りを促すとともに、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るためのデータを得る。

【従来との変更点】

上記実施目的に大きな変更点はない。

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は 2018 年度後期および春期集中・通年開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学生とした。

1-3. 調査期間

【アンケート実施期間】 2018 年 10 月 29 日(月)～2019 年 2 月 28 日(木)

上記期間中はアンケートサイトを常時回答可能な状況とした。授業時間を 15 分ほど利用し、学生所有の携帯電話、スマートフォン等より、Web 上での回答とした。授業内に回答できない学生については、当日中に PC 教室等から回答するよう指示した。なお、回収率(回答者延数／受講者延数)は 52.59%であり、前回(2018 年前期 52.09%)と比較して、ほぼ横ばいとなった。ただし、アンケート回収率が徐々に上昇した 2017 年度に最高で 60.06%であったことと比較すると、大きな課題を残した。

1-4. 調査設計

調査項目の基本構造については、2017 年度とほぼ同じ内容としたが、設問数および設問内容に変更を加えた。設問については集計結果を参照のこと。

- (1) 各授業の教育目標についての項目／全科目共通の 9 項目と各授業で指定した項目
- (2) 授業についての自由記述／全科目共通の 4 項目

授業科目単位の集計結果および学生の自由記述は、教学向上を目的として、授業担当者(オムニバス等の科目については担当者全員)が閲覧し、教員コメントを Web 上から入力する方式とした。なお、データ分析、まとめは授業科目単位で実施し、科目群の加重平均を出すこととした。

2. 基本データ

2-1. 基本データ

時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、授業登録学生のみ回答できるシステムとした。

2-2. 授業についての選択項目

教育目標に沿って授業科目毎に設定された項目について、

[1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみ回答させた。

2-3. 授業についての自由記述項目

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

2-4. 回答・集計方法

(回答) Web 上で ID/PW の設定を行い、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

(集計) 集計後、授業担当教員が担当科目のアンケート結果を Web 上で閲覧し、コメントや受講者へのメッセージを入力した。オムニバス科目等(複数担当者科目)については、該当教員全員が閲覧でき、コメントを入力できるシステムとした。

2-5. 回答状況

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

【回収率】

のべ回答者数	19,759
履修登録者のべ数	37,575
回収率	52.59%
実回答者数	3,155
全回答講義数	1,023
集計対象回答講義数	804